

# 鉄研通信

第 21 号

学校法人 清風学園  
鉄道研究部 発行  
発行日:2023・2・10  
編集:鉄道研究部  
中1部員

## 文化祭

鉄道研究部では毎年開催されている清風学園文化祭にて出展を行い、鉄道の良さや鉄道研究部の日々の活動の発表を行っています。昨年の九月九日に開かれた第五十一回文化祭の出展内容は例年通り2教室に分けました。1つ目の教室は、模型レイアウトを使った走行会、2つ目の教室では、デジタル課が制作した動画や電車の方向幕などの鉄道グッズの展示を行いました。大盛況で、今年は五〇〇人以上の方々にお越しいただきました。その他には、今年初めてアリーナにて、デジタル課制作の『ローカル線を救いたい』僕らの栗生線活性化 project』についてプレゼンを行いました。最初に少しトラブルもありましたが、なんとか無事に終える事が出来ました。



## サブ模型台作成

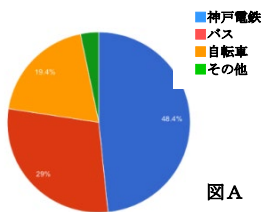
鉄道研究部では今年三月の北摂模型フェスティバルに向けてサブ模型台という机四個分位の大きさの模型台を作っています。左の写真は作成途中の写真です。地形は全て粘土で形どり、その上に絵の具を塗って作成しています。またその上に、芝をボンド水溶液で固着し、建物などは鉄コレを使用しています。



## 神戸電鉄栗生線活性化プロジェクト第三回現地調査

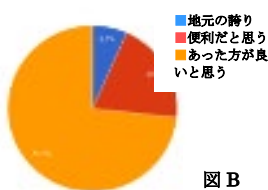
今回鉄道研究部は二〇二四年一月一四日に神戸電鉄栗生線に伺い、近隣住民の方々アンケートをとりました。そのアンケートの結果をまとめ、先輩方にまとめて部会で発表されました。結果としては三宮方面に出かける際には神戸電鉄を使っている方が、図Aの様になりました。さらに、栗生線の事をどの様に思っているのかというアンケートでは、図Bの様になり、地元の人にとって栗生線はあまり必要にされていないことがわかりました。ここでさて、どうすれば栗生線を利用して貰えるかと考えたとき、和歌山電鉄がイチゴ電車を導入した事によって利用客が増えた事から、神戸電鉄栗生線でも話題性を呼ぶ観光列車の導入や地域の観光スポットなどを充実させることにより、路線の名前を全国的に広めて行き活性化を行いたいと考えております。

神戸方面に出かける際の交通手段



図A

栗生線をどの様に思うか



図B